

(別紙様式2号 別添)

都道府県内における推進事業取組実施状況一覧表

| 取組名         | 事業実施主体名             | 計画策定時   | 事業実施後 (目標年度)    |                            | 目標 (平成26年度)    |                           | 事業費 (円)    | 負担区分 (円)  |       |      |            | 目標達成状況<br>B/A×100 | 事業主体等による評価結果   | 都道府県による点検評価結果 (所見)   |
|-------------|---------------------|---|-----------------|----------------------------|----------------|---------------------------|------------|-----------|-------|------|------------|-------------------|--|--|
|             |                     | 被災前<br>22年度                                   | 実績値             | 事業実績                       | 目標値            | 具体的な事業内容 (計画)             |            | 交付金       | 都道府県費 | 市町村費 | その他        |                   |  |  |
| 家畜改良体制再構築支援 | みちのく安達農業協同組合 (二本松市) | (平成22年度) 繁殖牛 2,736頭<br>(平成24年度) 繁殖牛 2,480頭に減少 | 肉用繁殖牛飼養頭数2,176頭 | 肉専用繁殖雌牛20頭を導入して、組合員に貸し付けた。 | 繁殖牛飼養頭数 2,495頭 | 肉専用種雌牛20頭を導入して、組合員に貸し付ける。 | 11,721,150 | 1,142,840 | 0     | 0    | 10,578,310 | 87%               | 本事業により繁殖雌牛20頭の貸付を行い飼養頭数の回復を図ったが、震災・原発事故に伴う廃業に加え、高齢化・後継者不足による農家数の減少が加速し、目標を達成することができなかった。<br>一方で、子牛相場が好調な事もあり、規模拡大を志向する生産者もいることから、こうした農家を中心に、本事業や各種導入事業を実施するとともに、低コスト牛舎建設や空牛舎の活用等を進めて、繁殖雌牛の増頭を図る。 | 原発事故や高齢化等の理由により廃業する畜産農家の影響を受けて、全体の飼養頭数は減少しているが、本事業の実施により減少率は小さくなっている。<br>引き続き、本事業の活用を推進するとともに、繁殖雌牛の増頭を奨励する県単事業の継続や、肥育農家を一貫経営へ誘導するなど、肉用牛生産基盤の回復を支援する。 |
| —           | —                   | —   | —               | —                          | —              | —                         | 11,721,150 | 1,142,840 | 0     | 0    | 10,578,310 | —                 | —  | —  |

(注) 1 別紙様式1号の別添1に準じて作成すること。  
 2 「都道府県による点検評価結果 (所見)」には、都道府県としての事業実施主体ごとの目標達成状況に関する評価を記載するとともに、目標未達成の場合には改善措置の指導の必要の有無を含めた今後の改善指導方策を記載する。